

## 防府南基地創立70周年記念行事

令和6年6月1日(土)9時から航空自衛隊防府南基地で挙行された創立70周年記念行事に隊友会から4名が参加しました。募集環境が極めて制約される中、今年も全国から約850名の若人が防府に集いました。

式典に先立ち芦屋基地所属のT-4による展示飛行が行われました。9時10分からの観閲式では、基地司令の式辞の後、御来賓の方々の祝辞に続き、2個の大隊が順次観閲行進し、合計866名の新隊員が凛々しく、かつ、堂々とした姿を披露しました。観閲行進の際の曲は陸自でおなじみの「抜刀隊」ではなく、平成6年の空自創隊40周年の際に作曲された「空の精鋭」で、行進に相応しい曲調でした。

観閲行進終了後は装備品展示や航空学生によるファンシードリル、音楽隊による音楽演奏会が行われ、来場された来賓や新隊員のご家族を魅了していました。



T-4による展示飛行。今年は残念ながらブルーインパールの激励飛行はありませんでした。



女性の区隊長による行進。この大隊では、女性の中隊長も参加し、ここでも女性進出が著しい。



観閲官に対し敬礼する観閲部隊指揮官 吉村 1佐



祝賀会食で置かれたランチョンマット。見え辛いが、上部に70周年の記念の文字が印刷されている。

## 講演会に参加「つるや」の女将も講演

5月12日(日) 午前10時30分からホテルココランド(COCOLAND) ファミリーにおいて講演会が参加され、隊友会から2名が参加しました。この講演会は高村正大後援会の女性部である「花と小鳥の会」の主催で、会場は約150名の聴衆で埋まりました。

講演は衆議院議員 高村正大氏のほか、同氏の義姉で福井県あわら温泉「つるや」の女将である小田絵里香氏のダブルキャストで開催されました。当初、小田氏から能登半島地震における被災状況、復興への取り組み、3月16日に福井県の敦賀まで延伸した北陸新幹線による観光需要の期待などを話されました。後段では高村氏が諸外国の憲法改正の状況と我が国における憲法改正への行程、党の取り組みなどを説明され、憲法改正の必要性を熱弁されました。

講演会終了後は宇部市長 篠崎圭二による激励の祝辞や講演された2名への花束贈呈、記念撮影が行われ、盛会裏に終了しました。高村氏は宇部市に引き続き、山口市、防府市でも講演されました。



パンフレットを手に熱弁する高村氏。所属政党としては4項目の改正を提言している。



講演後の高村氏と義姉の小田氏。



花束贈呈後者を中心に記念撮影する両氏